

# 介護体験を



## 聞く会



ホームページ  
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

### 第195回 介護体験を聞く 会

平成30年4月28日

(土) 開催

出席者(職員)・柳田院長、  
柳田CM、柏倉CM、飯  
田CM、板井、吉田、田  
淵、工藤、杉山  
出席者(家族・他)・Wさ  
んのお嫁さん、  
柳澤さん、今野さん、  
柴山さん、野々目さん、  
長島さん、藤田さん、  
中島さん

介護体験を聴く会決算報  
告(略)  
Wさん (女性 64歳)  
の事例検討  
家族相談会  
昭和29年2月  
介護度 要介護1  
利用開始日 平成27年  
9月7日 柳田デイケア

出身地 東京都大田区  
趣味 社交的 世話焼き  
子供好き性格

主介護者 次男

\*既往歴

・腎盂腎炎

・甲状腺の疑い

・膝の裏に水がたまる

\*既往歴

平成19年 左前頭葉腫

瘍 未破裂動脈瘤 症候

性てんかん

平成26年 左大腿転子

部骨折 アルコール性肝

障害 慢性C型肝炎 胆

石

\*現在の内服薬

大建中湯：通常、腹が冷

えて痛み、腹部膨満感の

ある人の治療に使用

エクセグラン100mg

：中枢神経に作用して、

てんかんの発作を抑える

薬

マグミット330mg：

排便を促す薬

会報第196

平成30年5月16日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-233-0061

\*今月は26日です。



昔取った杵柄

\*生い立ち  
東京都大田区で赤ちやう  
ちん(後に塗装業)を営  
んでいた実家にて三人兄  
妹の次女として生まれる。  
その後は川崎区に在住。  
中学校卒業後、花王工場  
で働いていた。21歳で  
結婚され23歳で長男を  
出産し、長女、次男、三  
男と四人の子供に恵まれ  
た。ご主人とは喫茶店で  
住み込みをして一緒に働  
いた後、蕎麦屋を営んで

いたという。マンション  
を購入し暮らしていたが、  
ギャンブルが原因で全て  
を失くされた。その後は  
離婚し、女手一つで四人  
の子育てをされた。子供  
のために朝も夜も懸命に  
働いたと仰っている。

「子供を四人も育てあげ  
た事だけは自慢できる。」  
とよく話して下さります。  
親が亡くなった際、遺産  
相続でもめた経緯があり  
長男とはそれきり連絡を  
取っていないと御本人は  
仰っている。長女は結婚  
後三重県に住んでおり、  
たまに連絡を取っている。

現在入所されている施設  
(住宅型有料老人ホーム)  
に併設のデイサービスへ  
週2回通っていたが「ト  
ランプばかりでつまらな  
い。」との事で週1回に  
減らし、更に「行きたく  
ない。」との事で柳田デ  
イケアを利用される運び  
となった。

\*現在のADL  
歩行……完全自立。  
食事……箸にて自立。デ  
イケアでは、ほとんど完  
食されているが嫌いな物  
が入っている場合は残さ  
れている。

排泄……自立。ご自身の  
タイミングで御手洗いへ  
行かれています。  
1年程前は便失禁があっ  
たが、現在はなし。  
入浴…着脱はご自身で行  
なっています。以前は見  
守り入浴でしたが、洗髪・  
洗身共にご自身で出来て  
いるので現在は個浴をさ  
れています。

最近では髪の毛の量が多  
いので「洗うのが大変。」  
と仰り「洗わなくてもいい  
。」と面倒くさががる発  
言があります。  
\*デイケアでの様子  
午前中に行っている集団  
体操では率先してリリア  
ンの準備をして下さいま  
す。職員が歌詞カードを  
広げる時には一緒に広げ  
てくださるなどのお手伝  
いをして下さっています。  
片付ける時も同様に素早  
く動かれ手際よく行なっ  
て下さることが多いです。

集団体操中の質問などに  
も元氣よく答え意見を言っ  
て下さる事も多くみられ  
ます。  
活動中は真面目に取り組  
んで下さっていました。が、  
ここ最近では馴染みの他利



用者の方とひそひそ話を  
されていることがよくあ  
ります。また、他利用  
者が出来ない事に対して強  
めの発言をしてしまうこ  
とがあります。

以前は昼食後の食器洗い  
をお願いすると「いいよ。  
任せて。」と言いテキパ  
キこなして下さっていま  
した。「私、やろうか？」  
と自らやって下さること  
がほとんどでした。ほぼ  
日課となっていたのです  
が、いつものようにお願  
いすると「なんで私だけ！」  
「やだ。」と拒否される  
ことが増えた為、半年以  
上前からは行なっており  
ません。

おいしくなれ!



午後のBCR体操中はしつ  
かりと体操をして下さっ

ていたのですが、ここ2  
か月位前から目を瞑って  
寝ている姿がよくみられ  
ます。

「今度は来るのだけ？」  
「明日は休み？」と職員  
に尋ね、車に乗ってから  
も同じ質問をされること  
が度々あります。

最近、息子さん同士が  
同級生で仲が良く親同士  
も交流があったという顔  
見知りの方が利用者とし  
てデイケアに通われるよ  
うになりました。久しぶ  
りにお会い出来たことも  
あり昔話を懐かしんで話  
したりするなど楽しそう  
にされています。

※施設での様子

デイケアを利用されない  
日の午前中はベッドで横  
になっていたり事が多いそ  
うです。午後はフロアの  
テーブルで他のご利用者  
様と一緒にテレビを観た  
りお喋りをしたりして過  
ごされています。同じフ  
ロアのご利用者様に積極  
的に話しかけられたり、  
食事の配膳を手伝って下  
さるなどいつも周囲に気  
を配っているとのこと  
です。施設では比較的穏や

かに過ごしています。  
気になる点としては何度  
も同じ話を繰り返すこと  
と口喧嘩をすることが挙  
げられています。

また最近、目の奥の痛み  
を訴えることがあるとい  
うことです。

※今後について

リウマチによると考えら  
れる軽度の手指拘縮があ  
りますが悪化みられてお  
りません。

固定した人間関係や座る  
場所などへの固執が日に  
日に強くなっていると思  
じられる為、穏やかに楽  
しんで過ごしていただい  
ける様に職員による声掛  
けで介入を図っていきたく  
と思えます。また、周囲  
の状況を察知する力、気  
付きが多く敏感な方なの  
で、意見を下さる事に  
対してしっかりと傾聴  
が出来ると体制を取って  
いきます。

\*家族相談会

Wさんお嫁さん…現在施  
設に住んでいる経緯は、  
家族がすべて就労してお  
り、自宅で介護するには  
一日中付ききりである必

要があるためです。現状  
物忘れの症状については  
進んでいるのではないかと  
家族は心配しています。  
また、デイケア利用を行  
きたくないからと断った  
り、勝手なことを言った  
りしてご迷惑となってい  
るのでは…とも思います。

杉山…物忘れの症状につ  
いては利用当初より改善  
されているように思いま  
す。曜日などの苦手な記  
憶分野もあるようですが、  
興味のある事や利用者さ  
んの名前は全て覚えてい  
らっしゃる等、記憶でき  
る事柄も多いと思います。

デイケア利用中にほかの  
利用者様に対する強めの  
発言については、やめて  
頂くようお願いしており  
、また、そのことでご本人  
がデイケアに行くことを  
渋った可能性もあります  
が、多くの皆さんが過ご  
す場所ですので、ご理解  
いただけるよう今後も伝  
えています。

工藤…体重減少が継続し  
ており、気になっていま  
す。

Wさんお嫁さん…お菓子  
などの差し入れはしてい  
るのですが。

柳田CM…主食が不足し  
ているのかもしれないの  
で、ケアマネージャーさ  
ん経由にて施設の方へ食  
事量の配慮をお願いして  
も良いかもしれませんね。

柳澤さん…(ご家族のう  
ち次男夫婦だけが面会や  
差し入れ、各種手続き等  
を担っていることについ  
て)それは上手くないな、  
やはり親なんだから、生  
きている限り面倒を見な  
きゃいけないと思う。

院長…介護保険制度等、  
様々な変化があるので、  
やはり家族間で連携がと  
れるようにしておいたほ  
うが今後の為にもよいで  
しょう。

野々目さん…最近自分  
が介護していることにつ  
いて姉が「ありがとう」  
というようになったけれ  
ども、以前は滅多に來な  
いの口ばかりだされて  
困った。

長島さん…うちは三人息  
子だけれども、何かある  
と長男が皆に連絡を取っ  
てくれています。

柴山さん…今回父が急に  
入院したため、(認知症  
の)母が一人になってしま  
い、グループホーム旭



町へ緊急ショートステイが出来て本当に助かりました。私自身も家庭があり、住まいも決して近くないので、母が夜にデイサービスに一人で行ってしまい、どうしたら良いか本当に困りました。兄弟は口は出すけれども手助けしてくれなかった。自分もいっぱいいっぱいなのに・・・。

柳田CM・家族の中で一人でも気持ちが悪くなって、手助けしてくれる人がいると一安心ですね。

文責：柳田ダイケア  
杉山

### 「仲間と家族と共に迎える誕生日会」

4月22日 Bさんの誕生日会を行いました。Bさんの家族が6名グループホームのリビングに来訪して頂きました。誠にありがとうございました。Bさんの誕生日会を祝うために仲間の皆さんと協力して、カレーライスとサラダを作りました。Sさんは、人参の皮剥きを

ピーラー使用して綺麗に剥いて下さいました。IさんとBさんは、じゃがいもの皮剥きを包丁で行い手際よくされていました。Tさんは、じゃがいもの皮剥きをピーラー使用して集中して取り組まれています。他の仲間たちは、喋り声を聴いたり、包丁の軽快な音を聴いたり、匂いを感じたりして過ごしていました。それぞれ認知症を患われていますが、今まで子どもたちを育てるためにも所仕事をしていた手でもあるので、じゃがいもの芽や皮を包丁1本で丁寧に剥いて下さいます。食材や調理道具を見るとお手伝いした気持ちや人のために役に立ちたい気持ちにしている気持ちが表現されています。野菜の煮えた匂いが漂い、カレーを入れると部屋中にカレーの匂いがして、食欲を増進していました。久々にBさんは、家族と再会し、家族の方と談笑をして過ごしています。自ら協力して調理をしたカレーライスを振る舞い、

誕生日の歌を大事仲間たちにお祝いされ、ロソクの火を消しました。Bさんの表情は笑顔に満ち溢れていました。グループホームとは、地域の中にある認知症を患われた方が共に支え合い、笑い合い、共に成長し、生活をする場所です。家族と会えることは、脳に刺激となり、時間が経過してしまえば忘れてしまうことでもあります。写真などで記録に残し、微かな記憶でも読み起こすきっかけになります。今後も利用者と家族の心の距離が縮まる生活の場所を構築していけるように努めて参ります。

佐和田

### 口腔機能訓練導入

ダイケア室では、4月からの介護報酬改定に伴い口腔機能訓練に力を入れていく事にしました。日本人の死因第3位は肺炎です。その中で誤嚥性肺炎が8割近く占めています。誤嚥性肺炎と診断されると、肺炎が落ち着

### グループホーム小旅行



くまで食事を食べる事が出来ず、点滴治療や経管栄養になります。昔は口から食事が出来なければ、死が訪れました。しかし、医学の進歩により、食べられなくなっても生き続ける事が可能になりました。しかし、口から食事が摂れないという事は人間にとって1つの欲求を奪われてしまうような物です。食べる事で脳が刺激され、精神活動が活性化される為、食べることが出来なくなると精神面も低下してきます。よくお茶を飲んだらむせている方がダイケア室でも多くいらっしゃいます。その方だけでなく、高齢になると嚥下機能が低下し誤嚥のリスクが高くなります。むせない誤嚥もあります。今迄は食事前に全員(20名前後)で口腔体操をしていました。しかし、いざ食事を目の前にするとう食事が気になり体操が出来ない方、難聴の為聞こえない方、認知症によりスタッフの言っている事が分からない方などは全く口腔体操に参加する事が出来ませんでした。実はその方達にとって口腔体操が必要だったりもします。その為、1〜5名程度の少人数のグループで口腔体操を実施していく事にしました。難聴の方を集めて大きな声で行ったり、認知症の症状に応じてグループを作りその方にあった体操をする様にしています。すると今迄はされなかった方々も積極的にして下さいます。して下さいますか?と思っていた認知症の方も職員を目の前にすると一緒に模倣して下さいます。大勢の中では細かなケアが出来にくい



ですが、少人数だと個々に合わせて行う事が出来、私たちも新たな発見をさせて頂いています。

認知症がない方達には、体操だけでなく肺炎の怖さやデイケア室だけでなく、自宅で口腔体操を行うように指導しています。いずれは認知症の方のご家族にもパンフレットなどでお伝えし負担がない程度に自宅で行って頂ければなど考えています。皆さんに安全にいつまでも美味しく食事が口から食べて頂ける様に、個別での口腔機能訓練を積極的に取り入れていきます

## グループホーム小旅行



## デイケア室 八馬 調理プログラムによる回想法

メニュー決めは介護スタッフ、調理スタッフ、利用者者と相談し今回はハンバーグに決定しました。利用者の中には栄養管理が必要で食事を毎回持参される方も事前に本人、ケアマネージャーにも相談し準備を進めました。当日は皆さん朝から張り切りハンバーグ作りから始め、挽肉、玉葱のみじん切り、卵、パン粉、豆腐を混ぜました。途中で分量の間違い等ありましたが種作り終わりました。力がある作業ですが交代しながら行い、グラムを計り形を作り、みなさんの手際の良さもあり小一時間で行えました。次はサラダ作りですがレタスをちぎりブロッコリーを茹で、トマト、きゅうりを切ってもらい、コーンを入れ混ぜ合わせました。色々な材料を切ったり、混ぜたりとありましたが包丁の扱いは驚く程上手

でした。時間があつたのでポテトサラダも作りました。みなさん家庭で調理をしてきているので手際良かったです。

焼き上がってくると良い匂いが出てきて皆さん楽しみに待っていました。盛りつけを行いスタッフ、利用者一緒に食べました。おいしいと次々食べられ笑顔になっていました。17人分の食事を作る大変さが実感できました、利用者さんの普段見れない姿も見ることができ、今回の昼食作りは大成功だと思います。また機会があつたらチャレンジしていきたいと思えます。

柳田デイサービス  
板井

## 新人紹介

デイサービスに12月から入職しました、笹本真由美です。リハビリを担当させて頂いていきます。資格は看護師です。

こちらに来る前は6年間、鶴見の大規模デイサービスで看護師業務をしてい

ました。リハビリも看護師が担当していました。集団でのリハビリが殆どでした。

今回、こちらでリハビリを担当するにあたって、デイケアの理学療法士さんに勉強をさせて頂きました。解りやすく丁寧に教えて頂き、またご利用者様も理解して勉強させて頂けて、とても感謝しています。有難うございました。

大規模デイサービスと違い、個別での対応になりますので、日々、これからは勉強をして、ご利用者の生活動作の向上の為、元氣な在宅生活の為に、より良い機能訓練指導員になれるように精進していきたいと思えます。よろしくお願い致します。

デイサービス看護師  
笹本真由美

## 重度認知症の発 生と経過とケア 方法

一般的に認知症は記憶の蓄積をつかさどる大脳

細胞群の廃用性萎縮です。昔から使われない車輪は錆びるといわれますが、人間の脳も物質であり、使われないと後退萎縮します。このほかに、大脳の記憶中枢群には依存性の問題がある。長年の夫婦で妻が夫に依存してばかりいて、夫が亡くなるとトタンに残された妻がボケることがある。長年夫に依存し、妻の自立性が失われた状態がつつぎ、一人のなつたときに社会環境に対応できない。この場合低下した記憶中枢にいくら外部から刺激を与えたり、再勉強しても、内部が破壊されており、現代医学では無理である。このときはグループホームなどの認知症専門施設に入つて、専門知識のある職員にお世話になることである。そこでは新しいなじみ関係の構築から始めることになる。幼少時の記憶や新しい9名のメンバーによるなじみ関係をつくる。新しい社会の再構築である。

柳田診療所 柳田